

第11回全国和牛能力共進会 開催！！

～高めよう生産力 伝えよう和牛力 明日へつなぐ和牛生産～



5年に1度、『和牛のオリンピック』と呼ばれる、第11回全国和牛能力共進会が9月7日(木)～11日(月)宮城県仙台市において開催されました。会場には、全国39道府県から選ばれた史上最多となる513頭の和牛が集まり、それぞれ『種牛の部』と『肉牛の部』にわかれ、各道府県の代表として、改良の成果を競い合いました。

青森県からは、全9部門にエントリーとなり、選ばれた26頭が代表として出品されました。東通村からは、肉牛の部第8区若雄後代検定牛群において菊池秋男さん(目名)の「国広」

区分	出品条件	名号	出品者	結果
第8区	若雌後代検定牛群 ※3頭1群 (父:広清)	清春	橋本勝春	1等賞
				枝肉格付 A-5
				BMS No. 8
		国広	菊池秋男	1等賞
				枝肉格付 A-5
				BMS No. 8

号と橋本勝春さん(目名)の「清春」号が出品され、入賞を果たしました。

菊池さんと橋本さんの枝肉成績は評価が高く、その卓越した肥育技術の高さがうかがえました。

これは、畜産農家が日頃積み重ねた努力の成果であります。入賞を機会に、更なる飼養管理技術の向上に研鑽されることを期待します。

肉用種牛飼養農家へ 卓越した飼養技術を讃えて表彰！

8月25日(金)～26日(土)、青森県畜産市場において、第14回青森県畜産共進会が開催され、県内各地より肉用牛72頭(東通村からは、黒毛和種1頭、日本短角種1頭)が出品されました。

肉用種牛の部において、第6区日本短角種でチャンピオンとなった熊谷一さん(早掛平)の「いちご」号が「東北農政局長賞」を受賞しました。第2区若雌の2では、上路ミヨ子さん(大利)の「しげゆり」号が優等賞1席(全体の2位)となりました。

また、去る9月1日(金)青森県畜産市場にて、8月4日(金)に開催された子牛市場の最高値販売農家として寺道 and 廣さん(尻屋)が表彰されました。

近年の子牛市場では、過去最高となる高値が続いています。その中で最高値販売農家として表彰されたことは、村内畜産振興のため飼養管理技術の向上に努めた結果であります。

今後とも、肉用牛の改良と増殖に励んでいただき、安全で安心な畜産物の生産をお願いしたいと思います。



最高値販売農家として表彰された寺道 and 廣さん(尻屋)



上路ミヨ子さん(大利)の『しげゆり』号



東北農政局長賞を受賞した熊谷一さん(早掛平)と『いちご』号

